

まえがき

『板垣雄三先生インタビューVol.1』のまえがきでも言及したとおり、先生の研究内容について、踏み込んだ意見を伺う必要があると考えて、第2回のインタビューを実施した。

長年、先生の発言を見聞してきた方々からは、目次から判断してなんら目新しい内容になっていないのではないか、という指摘を受けるかもしれない。しかし、可能な限り網羅的に、一度の機会にまとめて話を伺うことで、これまで十分に理解されていなかった、板垣先生の真意をくみ取ることにより多少なりとも貢献ができたと思う。

関係のないと思われる分野からも、自ら抱えた研究上の問題を解決する糸口を探そうとすることがいかに重要か、先生自身の体験とともに述べられている。板垣先生自身が研究のなかで発見し、確認し、自らの言葉で表現してきた内容を、編者としてできるだけ多角的に、時間を遡って補足してみたいという無謀な気持ちから、一見して「関係のない」とと思われる分野からも、補足情報として編注を追加した。これが読者の理解を促しつつ、先生本来の狙いを外していないことを、ただただ祈るばかりである。

追記

板垣先生による、「学知の建て替えに向けて 日本中東学会に托された課題」と題した講演が、日本中東学会第30回年次大会（2014年5月10日、於東京国際大学第1キャンパス）で予定されている。本書の内容に深く関係した講演となるということなので、先生の話をも直接伺える機会としてご活用いただきたい。

2014年3月1日

東京大学大学院人文社会系研究科イスラーム地域研究

阿久津正幸